

出張懇談会を開催

令和2年11月10日に西山第一行政区、同月16日に西山第二行政区の2か所で、出張議会懇談会を開催しました。

今回は延べ19名の皆さんに参加いただき、日頃感じていること、村に対する意見・要望等を伺いしました。その主な内容をお知らせします。

◎西山第一行政区

若者定住について

●Aさん

若者が定住し、平田村として生き残るためにどのような対策を考えているのか。

●高橋七重議員

どこの自治体でも、子育て世帯に手厚い支援や住宅を提供するなど対策をしている。若者の取り合いになっているのが現状。

議会でも定住のための提案等はしている。子育て支援だけでなく駄目であり、様々なことが繋がらないと定住に結びつかないのが現状。

●Aさん

例えば会津若松市では、会津大学とICT企業が

一緒にあって企業をつくった経過もある。今はコロナ禍、ステイホームで東京に事務所があっても平田村で仕事ができる時代。若い人を平田村に呼ぶのも方法ではないか。

●上遠野健之助議員

議会でも、過去にある大学を視察した際、平田村にも大学関係者を呼び交流すれば、のちのち雇用創出や定住に繋がるのではないかと一般質問した議員もいる。東京の人たちを呼んでも良いと考える。

●太田清実議員

大きな市などと同じこ

とをやっても太刀打ちできない。身近なものひとつ確立されれば成功率が上がる。若者に意見を求めることもひとつの方法と考える。

●上遠野廣一議員

安定した生活ができるための職場があることが一番大事と考えている。

●Bさん

雇用する側としては、技術的なことを学んでいる工業高校などがあればよいが、本村には高校がない。

●永瀬成元議員

今回のコロナで、仕事はリモートで行っているところが増えた。平田村もほぼ全域に光ファイバーが入っており、パソコンは都会と同じように使える状況。定住者に住みよい環境を与えるなど、あきらめずに取り組んで行きたい。

●Aさん

村でも少子対策課のような専門分野で、継続的

に特化して行くくらい力を入れないと、平田村は遅れてしまうのではないと思う。

●高橋七重議員

平田村はあぶくま高原道路もあり便利である。

村長も企業は難しいので、住宅地の整備として、小野高校平田校と蓬田中学校の跡地を考えている。

まだ手付かずの状況であり、早く進めてほしいと思っている。

若者定住対策に関する計画について、村執行側に確認したところ、次のような回答をいただきました。(令和3年1月12日現在)

現在、移住・定住支援策として次の事業を行っています。

- ◆石川地方5町村による婚活事業
- ◆空き家貸付助成金
- ◆民間賃貸住宅家賃補助
- ◆こども医療費無料化(18歳までの子ども)
- ◆赤ちゃん誕生祝金(子ども一人当たり5万円)
- ◆入学祝金
- ◆小学校入学時5万円 / 中学校入学時8万円
- ◆高校生等通学費補助 年間6万円

今後は、平田村総合計画の重点プロジェクトとして位置づけている「三世代同居支援」や「住宅新築に対する補助」等についても検討しており、新たな支援措置が講じられるよう財源確保に努めます。



参加者からの声

議員の顔が分かった。細かい説明もあり良かった。

今まで議会や地区に何も出ずにいましたが、いろいろ悩みがあることに気づかされました。若い人の力をもっと生かせる村になってほしい。

各行政区に出向いて下さるのは大変いい。今後も時間を十分に取って続けて下さい。

中学校の跡地について

●Cさん

廃校となった中学校については、議会でも何度か議論されたり先進地を視察したりしているようだが、何とか有効活用できるものはないのか。活用についての結論はでないのか。

●上遠野健之助議員

小平中学校の3階建て校舎と体育館は活用可能。2階建ての建物は耐震の関係で活用できない。

蓬田中学校も特別教室棟は活用可能だが、校舎は耐震の関係で活用できない。

新過疎法が制定され本村が該当となれば、その予算を使ってリフォームや取り壊しなどができるのではないか。

●太田清実議員

予算が伴うこともあり、再利用か取り壊しかは、まだ決まっていない。

●遠藤正彦議員

蓬田中学校のグラウンドについて、ソフトボール協会が管理・利用する方向となって動いている。

●Dさん

廃校利活用の研修に行っているが、参考となるものはなかったか。

●吉田好之議長

我々としては安全・安心に暮らせれば一番良いが、行政側としては少ない財源の中で村民が安心して暮らせる運営をしなければならぬ。

当初、小平中学校にスポーツジムを造るような話もあったが、今回、村長の公約でパークゴルフ場を造るとしている。また、西山小学校には温泉施設を造りたいと言っているが、コロナの問題もあり進んでいないのが現状。



廃校となった中学校の利活用計画について、村執行側に確認したところ、次のような回答をいただきました。

(令和3年1月12日現在)

学校ごとの計画は次のようになっています。

◆蓬田中学校

校舎(教室棟)は耐震基準未達のため、取り壊し予定。校庭等は住宅地として検討中。

◆小平中学校

活用方法について検討中。

なお、後川グラウンドはスポーツ及びパークゴルフ場として利用。

農業関係について

要望①

暗渠排水事業の継続を

暗渠排水事業が今年度なくなってしまう。平田村はまだまだ条件が悪いので、事業を継続してほしい。

村執行側からは、「農家から問い合わせもあることから、取組要件を精査しながら、再度、事業化を検討する。」と回答をいただきました。

要望②

農業用水路の止水をハンドル式に

ドル式に

農業用水路の止水板は、大雨が降ると水が溢れたり、板を外せなくなった。水に流されて命を落とす事故も起きています。ハンドル式の止水に変えてほしい。

村執行側からは、「農業用水の取水堰は、多面的機能支払交付金の対象施設となるため、この交付金の活用を推進したい。」と回答をいただきました。



蓬田地区に比べ、小平地区の多くは止水板を使用している

問

農業座談会 その後どうなった？

各地で農業の法人化や組織化に関する座談会を開催したが、その結果はどうなった？

村執行側から次のような回答をいただきました。

令和元年度、話し合い座談会を村内17か所で行いました。

上蓬田北屋敷地区と上北方地区は、基盤整備事業の取組を予定しており、何度も話し合いを継続しています。北屋敷地区では、今年度営農組合の組織化を計画しています。上北方地区でも、推進委員会が立ち上がっています。

今後も農業委員会と連携し、村内各地でワークショップ形式の座談会を継続開催する予定です。

ラジコン草刈機について

● Eさん

ラジコン草刈機はだいぶ古く、修理に係る出費も多くなっている。新調してほしい。

原発からの補償金を使って米の全量全袋検査をしていたが、令和2年から検査が無くなった。そのお金を有効に使い、農地が荒れないようにするため、議会からも陳情してほしい。

● 上遠野健之助議員

そのお金の使途について我々は勝手にはできないが、精査して、希望に沿った形で支援できるようにすべきと考える。

● 吉田好之議長

9月議会でもこの件に触れ、担当課ではオペレーターの育成もしていくとの答弁であった。

12月議会において、担当課に話をして、確認のうえ回答したい。



◀平成12年に水田条件農業経営確立し、導入したラジコン草刈機。20年が経過した。

村執行側から次のような回答をいただきました。

ラジコン草刈機は、現在、転作推進組合で管理運営を行っており、機械の更新については、現在の利活用の状況や組合の運営体制等を確認検討したうえで検討します。

問

複合施設建設に係る財政が心配

中学校、こども園が完成した。次に公民館と保健センターの複合施設を建設するけど、財政は大丈夫なの？



村執行側から次のような回答をいただきました。

複合施設建設は、老朽化した施設の更新と複合化を図るものです。

生涯教育、健康づくりや子育て支援など地域コミュニティの場としてなお一層、利用者の安全や利便性を確保するため建設します。

有利な起債を活用し整備を進めます。(現在、実施計画中。)

見込額について

事業費 8億数千万円

建設費の財源 公共施設等適正管理推進事業債

6億円

年間償還額 約2400万円

(30年償還の場合。うち5年据え置き)
※そのうち50%が交付税措置される。



◎西山第二行政区

道路等の整備について

◇道路にかかる支障木の伐採を

● Fさん

西山地区は未改良のまま現道舗装されているところが多い。そのため道路に木がかかり支障となっている。村で対応できないところの支障木伐採作業を地元で行うことはできないか。また、その際、維持管理に係る経費としていくらか助成をしてほしい。

● Gさん

村担当課に、高所作業車を借りて伐採することをお願いしているが、難しいようだ。

● 佐藤孝雄議員

民地であれば、そこは考えてやらなければならぬ。

助成については村の判断によると思う。

● 三本松和美副議長

議会が受け皿になって、

村に伝えたい。

村執行側から次のような回答をいただきました。

道路にかかる支障木の伐採については、要望箇所が多く、枝などの刈り払いでは対応できない部分が多くあります。個人所有の立ち木については、個人での対応をお願いしています。行政区によっては道路愛護作業など、地域のボランティア時にご協力いただいています。

高所作業車を使っての伐採作業は、斜面での作業などで労働災害等が発生する恐れがあります。

協働の村づくりを進める上では、地域住民の参加による共同作業は必要不可欠です。必要事項を整備し、行政区等への補助について検討します。

◇路面が壊れている

●Hさん

乙空釜浄水場から三進金属工業の間は、道路から水が湧き出し路面が壊れている。あの道路は3回くらい直している。

●Iさん

岩盤があるから、深く掘って排水しないといけないのでは。

●高橋七重議員

担当課に確認し、工法を変えるなど要望したい。

村執行側からは、「過去に何度か暗渠排水など修繕工事を実施したが、維持工事では有効な対策がない状況。再度、道路全体の改修工事が必要と考えている。着手までには時間を要し早急な対応は難しいが、新たな工法での施工を検討していく。」と回答をいただきました。

◇L字擁壁撤去できる？

●Jさん

村道草場乙空釜線と林道煙石線との交差部にL字擁壁などがいくつか置いてある。草刈りの際、支障となっている。撤去できないのか。

●事務局

道路改良工事で不要となった資材。民間事業者が使用することとなり、仮置きしているものと思われる。担当課に確認したい。



村道煙石線 何度か修繕工事を行ってきたが、湧水が発生している

村執行側からは、「乙空釜地内の工事の際に支障となった発生材。民間事業者に譲渡され一部は利用されたが、その残りが現場に置いてある状況。仮置き後、年数が経過しているのので、再度民間業者に聞き取りし、今後の取り扱いを検討する。」と回答をいただきました。

参加者からの声



廃校校舎や校庭は荒地状態や老朽化の進みが早くなる。アスレチックなど、子どもの遊び場をつくれれば家族で過ごせると思う。

問 西山小学校を集会所兼避難所として活用することは可能ですか。
答 地元行政区と協議のうえ、検討します。

廃校となった西山小学校の活用計画について、村執行側に確認したところ、次のような回答をいただきました。
(令和3年1月12日現在)

貸付していた業者が所在不明となっており、現在、弁護士に相談中。

西山第一・第二それぞれの地区において、未改良となっている村道の舗装について要望がありました。

村内には、拡幅改良工事が必要な路線、老朽化した道路や橋梁など維持補修工事が必要な箇所も多くあります。

このような状況から、路線の重要度を精査し、計画的に整備をする必要があります。道路舗装の着手に時間を要しています。

村では「生コン支給事業」や「地域づくり事業」、「多面的機能支払交付金事業」など、行政区や地域団体が主体となっており事業があります。それらを有効活用し、自分たちの地域は自分たちで作り上げることが可能です。自分たちの地域をどのようにしていくか、ぜひ地域で話し合う機会を作ってみてください。

コロナ禍の中、短時間で開催となりましたが、参加していただいた皆様、ありがとうございました。議会が地域に足を運ぶことで、より身近に感じていただけたのではないかと思います。

貴重なご意見等は、今後の活動に生かしていきます。

皆さんの地域・団体でも、出張懇談会を開催しませんか？

